

おすすめ コストダウン、品質保証など厳しく求められる生産現場において、情報システムの活用は喫緊の課題となっていますが、この分野での我が国最高の権威者である新先生に毎回ご講演頂くとともに、加えて企業におけるそれぞれの分野のトップの開発担当者にもご参加願ひ、5回シリーズで開催します。

多数の方々のご参加をお願いします。

- 1 期 日 平成19年9月11日(火) 15:00～ 受講料 無料
 2 場 所 上田東急イン (長野新幹線上田駅温泉口前 上田市天神 4-24-1 TEL 0268-24-0109)

3 **講演テーマ1：日立製作所大みか事業所での RFID 活用事例の紹介**

講師： (株)日立製作所 RFID・セキュリティセンタ **新村米満様**

内容： 激化する低コスト競争、短納期競争などの中、生き残りをかけて生産改革活動を行なっている。日本的なモノづくりの復活を目指し、生産改革の1つの道具として RFID を活用している事例を紹介する。

4 **講演テーマ2：生産改革と RFID 実証ビジネス**

講師： (株)日立製作所 RFID・セキュリティセンタ **大石聡 様**

内容： 大みか事業所で RFID を活用し、自らの実証実験の場としてその有効性を検証した RFID 活用のコツを、「見える化」「ムダ」「改革 PDCA」という観点で紹介する。

5 **講演テーマ3 人と物と機械のネットワークをめざして**

講師 電気通信大学教授 **新誠一 様**

内容： 技術にはいくつかのトレンドがある。その中でもバーチャル化とダウンサイジング化は著しい。大型計算機、ワークステーション、パソコン、携帯電話と進んだダウンサイジングは、現在、電子タグに到達し始めている。この電子タグを活用すると、バーチャル化を完結することができる。20世紀は設備をネットワーク化し、その情報をバーチャル化した。これは自動化を目指したためである。しかし、21世紀は活人化の時代である。このバーチャル空間に人を組み込むには電子タグが必須である。もちろん、材料、中間品、製品も組み込むことができる。この電子タグが作る新たな世界を考察する。

6 協 賛 計測自動制御学会中部支部信州地区計測制御研究委員会 7 申込方法 必要事項を下記に御記入の上、平成19年9月4日(火)までに FAX (0268-23-6673)・メールにてお申し込み下さい。

8 主 催 (財)長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター (担当：山岸・柳澤) TEL：0268-23-6788

住所 〒386-8567 上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部 AREC 内 E-mail：asama-t@asatech.or.jp

新村米満様 65年日立製作所へ入社、'05年より RFID・セキュリティセンタにて、自社内 RFID 活用推進及び RFID ソリューション外販ビジネスに従事

大石聡様 85年日立製作所入社、'06年より RFID・セキュリティセンタにて、自社内 RFID 活用推進及び RFID ソリューション外販ビジネスに従事

新誠一様 01年 東京大学大学院助教授、06年電気通信大学教授「自動車産業に見る最新技術動向」など著書、講演多数。計測自動制御学会フェロー称号。◆計測自動制御学会論文委員会委員長

ご記入いただいた情報は、当講演会の登録に利用するほか、当センターからのご案内等に用いるもので、他の用途へは一切使いません

「生産技術と情報システム」第2弾 “産業用ネットワーク” 参加申込書 (9月11日開催)

浅間テクノポリス地域センターあて (FAX 0268-23-6673) 平成19年 月 日

企業名	所在地		
参加者の所属・役職	氏 名	連 絡	先
		TEL	